



受動喫煙防止対策状況等に関する 聞き取り調査&啓発を行いました！ H30報告書

取組の経緯&目的

益田圏域では、平成20年度からたばこの煙のない乗り物施設の登録事業を行い、受動喫煙防止対策に独自に取り組み、登録施設も年々増加しています。今回、さらに“働き盛り世代”への取組強化を目的に、事業所を対象に受動喫煙防止に関する取組調査を実施し、健康教育を行い、さらなる受動喫煙防止対策を推進することとしました。

世界禁煙デーである5月31日に昨年度調査を実施した吉賀町の宗正建設さんで健康教育を実施し、禁煙週間中の6月6日には東西建設さんで聞き取り調査を実施しました。

有限会社 宗正建設

従業員を対象にたばこや酒、熱中症について健康教育を行いました！



受動喫煙防止に関する取組

施設内分煙として、受動喫煙対策に取り組んでいます。施設内に喫煙室を設置し、受動喫煙に配慮しています。東西建設は、平成30年3月にヘルスマネジメント認定事業所にも認定され、従業員の健康づくりに関する取組を積み上げています。

アイデア溢れる取組

喫煙者の中で2名は禁煙実行中。もちろん、禁煙成功した職員もいます。何を隠そう、会長も以前は喫煙者でしたが、職員と共に禁煙継続中です!!職員が禁煙に取組みやすいよう、禁煙手当も支給しています。



会長の強い想い

健康管理は企業の責任!!個人の問題かもしれないが、会社として技術職を守る、技術を継承していくためにも、会社の問題として考えています。

(左後列から→保健所中永、東西建設岡さん)

(左前列から→東西建設吉部社長、吉部会長、矢野部会長)



参加者アンケートより

- ・たばこは百害あって一利なしだと思った。(40代男性)
- ・たばこを吸う本人だけではなく、人前で吸わなくても他人への影響がかなりあることがわかった。(30代男性)
- ・家に帰り、資料をみせながら主人にたばこの害を伝えました。すぐには無理でもやめてくれると思います。(60代女性)



吉賀町河野保健師から、町の状況について説明

吉賀町では、吉賀町健康づくり推進協議会と連携して、近年集会所や公民館等の施設が禁煙施設として登録件数が増えています。

吉賀町健康づくり推進協議会 寺戸会長は、自らの禁煙体験談について話されました！

寺戸会長の『若い頃にたばこを吸い始めたことを今一番後悔している』という言葉が印象的でした。

保健所からはたばこの害や酒の心身への影響、熱中症予防について説明

益田圏域では、男性の喫煙率が上昇していることを話しました。

益田圏域には、活気があって魅力ある事業所が多くあります。ぜひ、圏域のモデルとなって、働く人の健康づくりに引き続き取り組んでいただきたいと思います。そういった事業所を、益田圏域健康長寿しまね推進会議は応援しています!!

★御協力いただいた事業所のみなさま、お忙しい中本当にありがとうございました!!